

RAITO KOGYO CO., LTD.

第68期
中間報告書

平成 26 年 4 月 1 日 ▶▶▶ 平成 26 年 9 月 30 日

営業の概況

国土の安全と安心を実現する専門技術者集団として、新たな価値を造り出し、信頼される会社を目指します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は昭和18年の創業以来、特殊技術の開発、導入を積極的に進め、専門土木分野において、国土の防災やインフラ整備を通じ、社会に大きく貢献してまいりました。

永年蓄積した豊富な経験と確かな技術のもと、社会に貢献していくことを変わることのない使命と深く認識するとともに、将来価値は、常に新たな挑戦の中からはしか生まれないと捉え、新しい事業領域への挑戦、新技術の開発等を通じ、人々の安心できる災害に強い国土の形成に尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年12月



代表取締役社長

鈴木 和夫

営業の概況

当中間期の概要

当第2四半期連結累計期間における建設業界は、民間建設投資に緩やかな回復が見られ、公共建設投資につきましても、総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における受注高は、公共土木の受注は増加したものの、民間建築受注の減少により、前年同期比0.8%減の551億5千5百万円となりました。売上高は、施工が順調に進捗したこと等により、前年同期比10.7%増の363億5千9百万円となりました。

利益面では、売上高が増加したことに加え、売上高総利益率の改善により、売上総利益は前年同期比30.2%増の61億7千7百万円となりました。これにより、営業利益は前年同期比93.9%増の21億6千万円、経常利益は前年同期比88.5%増の22億7千6百万円となり、四半期純利益は前年同期比73.1%増の15億8千6百万円となりました。

対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、資材価格や労務価格の一段の上昇が懸念されますが、公共建設投資の増加により受注環境の改善が期待されるなど、堅調に推移するものと考えられます。

こうした状況のなか、当社グループでは、安全衛生管理の徹底、専門土木事業分野におけるグループ経営体制の強化、建築事業分野での事業規模の確保、海外事業分野での事業規模の拡大、技術開発への取組の強化、財務基盤の強化を図り、当社グループ全体で事業量を確保するとともに、収益力の向上を図ってまいります。

第68期中間 財務ハイライト

●売上高	363億5千9百万円	(前年同期比10.7%増)
●営業利益	21億6千万円	(93.9%増)
●経常利益	22億7千6百万円	(88.5%増)
●四半期純利益	15億8千6百万円	(73.1%増)
●1株当たり 四半期純利益	30.13円	
●総資産	703億6千万円	
●純資産	382億4千6百万円	
●自己資本比率	54.4%	

工種別受注状況



斜面法面対策工事

鉄道の軌道盛土耐震工事の受注が増加したこと等により、前年同期比10.3%増の189億7千6百万円となりました。



基礎・地盤改良工事

米国子会社の受注が減少したものの、国内において電力関連の地盤改良工事の受注が増加したこと等により、全体として前年同期比0.1%増の190億7千5百万円となりました。



建築工事

首都圏における大型工事の反動減により、前年同期比28.1%減の58億6千4百万円となりました。



補修・補強工事

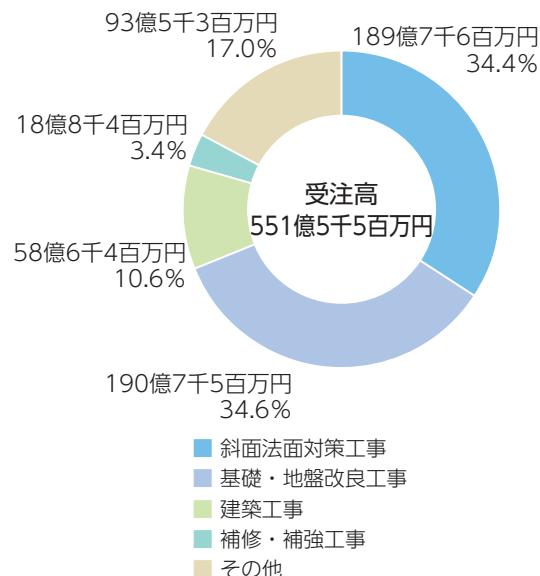
国土交通省発注の橋梁補修工事の受注が減少したことから、前年同期比4.2%減の18億8千4百万円となりました。



その他

放射性物質の除染工事の受注が増加したこと等により、前年同期比1.6%増の93億5千3百万円となりました。

工種別受注構成比



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末	前期末
	2014.9.30現在	2014.3.31現在
■資産の部		
流動資産	50,526	51,400
固定資産	19,833	20,100
有形固定資産	13,757	13,171
無形固定資産	114	126
投資その他の資産	5,962	6,802
資産合計	70,360	71,500
■負債の部		
流動負債	29,588	31,783
固定負債	2,524	3,913
負債合計	32,113	35,697
■純資産の部		
株主資本	39,014	37,280
その他の包括利益累計額	△767	△1,477
純資産合計	38,246	35,803
負債・純資産合計	70,360	71,500

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2014.4.1~2014.9.30	2013.4.1~2013.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,606	1,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93	△451
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,225	△706
現金及び現金同等物に係る換算差額	137	85
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,425	△23
現金及び現金同等物の期首残高	12,099	12,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,525	12,742

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2014.4.1~2014.9.30	2013.4.1~2013.9.30
売上高	36,359	32,857
売上原価	30,181	28,113
売上総利益	6,177	4,744
販売費及び一般管理費	4,017	3,630
営業利益	2,160	1,113
営業外収益	240	165
営業外費用	124	71
経常利益	2,276	1,208
特別利益	190	3
特別損失	0	9
税金等調整前四半期純利益	2,466	1,202
法人税等	879	285
少数株主損益調整前四半期純利益	1,586	916
四半期純利益	1,586	916

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2014.4.1~2014.9.30	2013.4.1~2013.9.30
少数株主損益調整前四半期純利益	1,586	916
その他の包括利益	709	433
その他有価証券評価差額金	192	346
為替換算調整勘定	166	86
退職給付に係る調整額	351	—
四半期包括利益	2,296	1,350

個別財務諸表

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末	前期末
	2014.9.30現在	2014.3.31現在
■資産の部		
流動資産	40,214	39,180
固定資産	21,564	21,008
有形固定資産	12,630	11,929
無形固定資産	104	118
投資その他の資産	8,829	8,960
資産合計	61,779	60,189
■負債の部		
流動負債	25,143	25,323
固定負債	1,867	1,973
負債合計	27,010	27,296
■純資産の部		
株主資本	34,828	33,144
評価・換算差額等	△59	△251
純資産合計	34,768	32,892
負債・純資産合計	61,779	60,189

ポイント①

四半期連結貸借対照表：資産は、受取手形・完成工事未収入金等の減少が、未成工事出来高の増加に伴う未成工事支出金の増加を上回ったため、前連結会計年度末に比べ、11億3千9百万円減少しました。負債は、支払手形・工事未払金等の減少及び税金の支払による未払法人税等の減少が、未成工事施工高の増加に伴う未成工事受入金の増加を上回ったため、前連結会計年度末に比べ35億8千3百万円減少しました。純資産は、四半期純利益の計上等による増加が、配当金の支払による減少を上回ったため、前連結会計年度末に比べ24億4千3百万円増加しました。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2014.4.1~2014.9.30	2013.4.1~2013.9.30
売上高	31,753	27,337
売上原価	26,177	23,422
売上総利益	5,576	3,914
販売費及び一般管理費	3,542	3,177
営業利益	2,033	736
営業外収益	229	154
営業外費用	115	61
経常利益	2,147	829
特別利益	189	48
特別損失	0	9
税金等調整前四半期純利益	2,336	868
法人税及び住民税等	756	171
法人税等調整額	43	43
四半期純利益	1,537	653

ポイント②

四半期連結損益計算書：受注高は減少しましたが、施工が順調に進捗したことにより、売上高が増加しました。利益面では、売上高の増加に加え、当社を中心に利益率が改善し、増収増益となりました。

会社概要 (2014年9月30日現在)

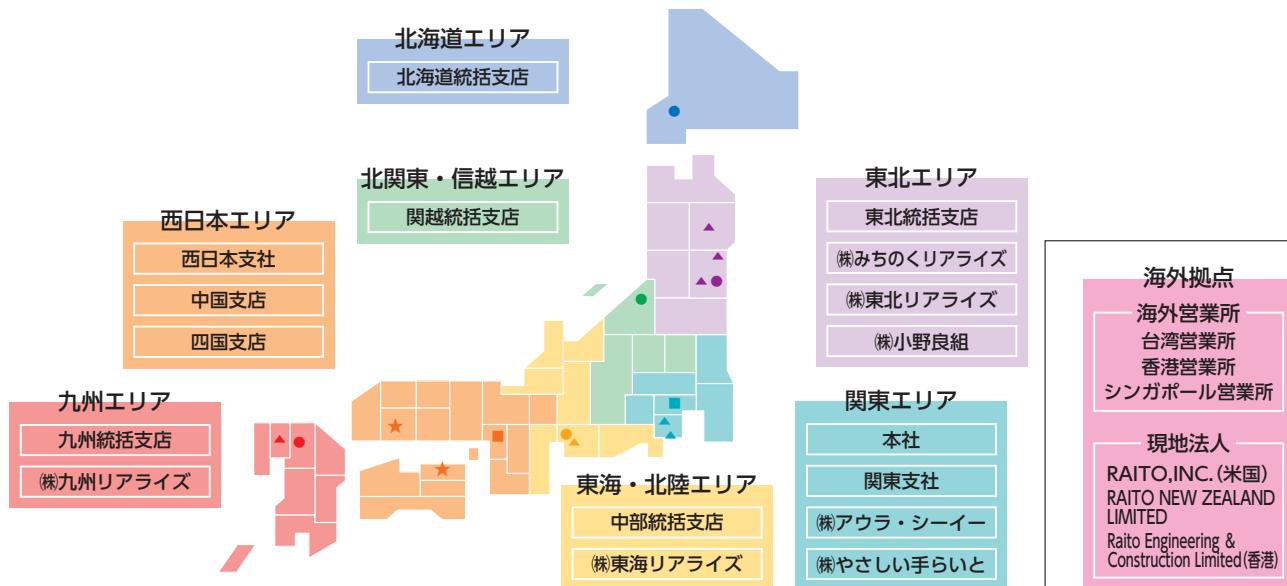
会社の概況

商号	ライト工業株式会社
創業年月日	昭和18年7月1日
設立年月日	昭和23年9月28日
事業内容	法面保護工事、地すべり対策工事、基礎・地盤改良工事、補修・補強工事、環境修復工事等の土木事業、建築事業及びその他（建設機械のリース、建設資材の販売、介護サービス等）の事業
資本金	6,119,475,000円
従業員数	889名
支社	関東・西日本
統括支店	北海道・東北・関越・中部・九州
支店	中国・四国
連結子会社	10社

取締役及び監査役

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
取締役会長	入江 保美	
代表取締役社長	鈴木 和夫	
専務取締役	荒木 進	技術営業本部長
常務取締役	船山 重明	経営管理本部長
常務取締役	藤澤 伸行	施工技術本部長
取締役	宝輪 洋一	海外事業本部長兼 RAITO,INC社長
取締役	西 誠	経営企画本部長
社外取締役	柴田 忠	税理士
監査役(常勤)	木下 博之	
社外監査役	御林 彰	ニッセイ信用保証株式会社 代表取締役社長 株式会社アルバック 非常勤取締役
社外監査役	宮城 信二	

ネットワーク



- (注) ・平成26年4月1日付で北陸統括支店を廃止し、関越統括支店を新設しております。
 ・組織改革に伴い平成26年4月1日付で関東支社及び中部統括支店の統括エリアを変更しております。
 ・RAITO NEW ZEALAND LIMITEDは平成25年8月13日に設立されております。
 ・Raito Engineering & Construction Limitedは、平成26年1月30日に設立されております。

株式の状況 (2014年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 198,000,000 株

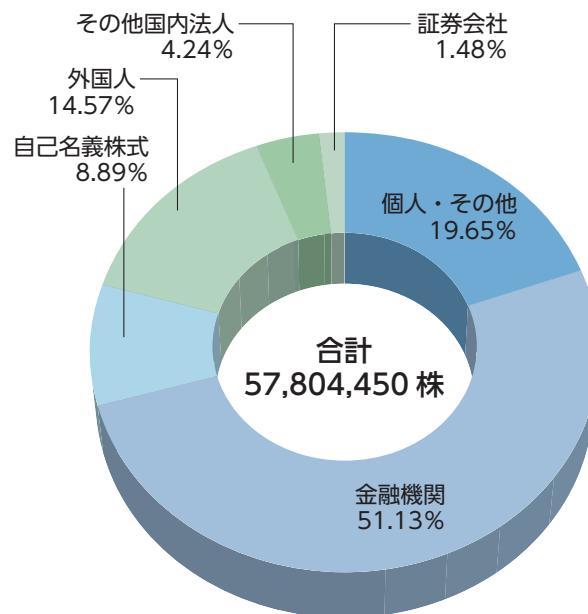
発行済株式の総数 52,660,304 株
(自己株式 5,144,146株を除く)

株主数 8,743名

株主名	持株数 (千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,482
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,347
太陽生命保険株式会社	2,734
株式会社三井住友銀行	2,629
日本生命保険相互会社	1,975
株式会社北陸銀行	1,601
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT (株式会社みずほ銀行決済営業部)	1,344
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,109
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	720
MSCO CUSTOMER SECURITIES (モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社)	709

(注) 当社は自己株式5,144千株を所有しておりますが、上記の大株主から除いております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日
期末配当金受領確定日 毎年3月31日
※中間配当金制度は採用していません。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店でっております。

株式のお取扱いについて

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



〒102-8236 東京都千代田区五番町6番地2
TEL.03-3265-2550 (ダイヤルイン) FAX.03-3265-0879
ホームページ <http://www.raito.co.jp>